

桑名市不祥事防止対策検討会 第1回会議

1 日 時	平成21年11月16日（月） 午後4時30分から午後5時35分まで
2 場 所	桑名市役所3階第2会議室
3 次 第	(1) 開会 (2) 委員長あいさつ (3) 委員紹介 (4) 不祥事事件の経過報告と問題点の把握 (5) 閉会
4 出席者	委員長：副市長 山下卓司 副委員長：市長公室長 石川雅己 委 員：水道事業管理者 斎藤隆司 総務部長 城田直毅 経済環境部長 森下充英 建設部長 西脇孝司 都市整備部長 水谷義人 都市整備部理事 榊英俊 教育部長 岡本隆 総務部次長兼契約監理課長 飯田時久 建設部次長 服部喜幸 人事課長 加藤洋士 総務課長 水貝久衛 危機管理課長 伊藤正幸
会議の内容	
加藤委員 （事務局）	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から桑名市不祥事防止対策検討会第1回会議を開催させていただきます。</p> <p>それでは最初に当検討会の委員長でございます山下副市長からあいさつをお願いいたします。</p>
委員長	<p>どうもみなさんこんにちは。職員の綱紀粛正につきましてはこれまであらゆる機会を通じましてその周知徹底を図ってきたところでございますが、この度の水道職員の逮捕という事態を受けまして非常に遺憾なことというふうに思っているところでございまして、その原因につきましては、単に個人の公務員としての倫理観の欠如というだけの問題ではないということで、先般の部長会でも市長から指示がありましたように、この度庁内に桑名市不祥事防止対策検討会を設けまして、その原因とか、あるいは対策につきまして検討協議をいたしまして、その対応方針について策定して参りたいというふうに思っておりますので、委員の皆様方につきましては、よろしくご審議をいただきまして、ご協議のほどよろしくお願いいたします。</p>
加藤委員 （事務局）	<p>どうもありがとうございました。続きまして、当委員会の委員をご紹介させていただきます。当委員会は構成人数が全員で14人でございます。委員長は山下副市長、副委員長は市長公室長でございます。そして委員の12人につきましては、お手許の資料の通りでございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、4番目の事項に入らせていただきます。</p> <p>誠に申し訳ございませんけれども、記者及び傍聴の皆様には、桑名市情報公開条例第6条の規定によりまして、ここから非公開とさせていただきますので、ご退席のほどをお願いいたします。</p> <p>《傍聴者退席》</p>
加藤委員 （事務局）	<p>それでは4番目の不祥事事件の経過報告と問題点の把握の議題に入らせていただきます。</p> <p>ここからの会議進行につきましては、委員長の山下副市長の方からお願いいたします。</p>

<p>委員長</p>	<p>はい。それでは、不祥事事件の経過報告と問題点の把握について協議を開始したいというふうに思っております。</p> <p>先ず最初に、今回の事案につきましての経過報告等につきまして、斎藤水道事業管理者からその概要について手短かに報告お願いいたします。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>委員長。水道事業管理者、斎藤でございます。改めて皆様方には今回の不祥事につきまして、公務員としての信頼失墜につながったということで、このような場を設けていただくことになり、誠に申し訳ありません。心からお詫びを申し上げます。</p> <p>それで、今回の経過報告ということでございますが、現在捜査中でございます。私を含め関係職員が事情聴取を受けております。それと、関係の書類につきましても、ほとんどが押収されているというような中でございますので、本当でございます。それと、具体的な捜査事実については、進行中ではありますが、私の方へは一切報告というか、示しておりません。</p> <p>従って、若干ではありますが、事情聴取の中で想定されるというか、予測されるというか、そういうこともあつての私の経過報告ということで、ほとんどが大まかやということで、まずもってご了承いただきたいと思えます。</p> <p>それで、その工事なんですけど、配水管、ある町の配水管の布設替工事ということで、それでその工事の目的は、いわゆる、東邦ガスがガス導管を布設替いたします、そしてそれにあわせて私どもの水道管も耐震管に布設替えをするといった工事の内容でございます。それで、最初に指名競争入札が行われて、1社が決定して、その後途中において水道工事を掘削する中で、変更の事案というか、変更内容が生じて変更契約いたしております。そしてこれについては既に工事として完成し、水道部職員による検査を終えた後、既に完成認定をいたし、工事請負代金については既に支払っておるということでございます。</p> <p>概要は以上でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。以上、管理者の方から経過についての報告いただいたんですけど、どうしても現在捜査中のことというので、その原因とか問題点はどこにあるかということについては、なかなか公にされていないということで、まあ、これからは、皆さん方のほうで、その原因がどこにあるか、あるいは問題点はこういったところにあるかということで、ざっくばらんにひとつご意見をいただいて、こういうところに原因があるんじゃないかということについて、忌憚のないご意見を、どうかたちでも結構でございますので。そういうことを協議検討しながらですね、ひとつ最終的に今後色々事情が明らかになった段階でですね、まとめていくということで。</p> <p>今考えておりますのは、そういう意見等を色々いただきながら年内にひとつこう、検討会としての大体のまとめみたいなものを策定いたしまして、年明けにですね専門家等の意見をいただきながら、あるいは検討会でまとめました案といいいますかね、そういうのを公表して、まあ議会とかあるいはホームページ上に載せたりして、市民から意見をいただきながら最終的に来年の1月末くらいまでにはまとめてですね、それを4月以降の新年度の中で活かして行きたい、いうふうに思っておりますので、ひとつ、非常に短期間でございますけれども、集中して取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>

<p>森下委員</p>	<p>まず、どういう形でも結構ですので、こういうところが原因と違うかなというふうなことがありましたら、ひとつ何なりと意見をいただきながら、たくさん意見がいただければ、その原因というのもですね、色々多角的に検討ができるということで、ひとつ、何なりとひとつよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、挙手をお願いしたいと思いますけど。無かったら、こっちの方から順番に、森下さんの方から順番にどうぞ。</p> <p>まあ、一般論で申し上げたいと思いますけれども、今回のことについては職員が一つの部署に長く在籍をしていたということでございますので、当然それはそれで理由はあったんでしょうけれども、やはり一人が長ければ当然発言力も、職場における仕事の専有率、偏りも懸念されると思いますので、そういったことをやはりある意味では定期異動というのとはしておかなければならないということ。</p> <p>それからもう一点は、常に私どもでも気を付けるようにしておりますけれども、設計仕様を作ったときにその内容の妥当性、あるいは積算の根拠となるべきことのチェック、そのへんの体制がちゃんと出来ておるのかどうか。ある意味ではもう、誰々が作った図面だからもうそのまま行きましようとかいう形で、縦横計算はやりますけれども、例えば仕様の部材はこれで良いのかとか、これについてはこの手法で良いのかといったチェック、そういったところも再度ですねチェックをかける必要があるだろうというふうに思います。</p> <p>それともう一点は、入札方式を早く一般競争入札に替えるべきではないか。諸般の事情はあったにせよ。</p>
<p>西脇委員</p>	<p>管理者のほうからちょっとご説明があったんですけど、具体的な内容はわからないということなんですけれど、設計変更をされてやったということで、その設計変更のなかにどういった形でその。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただその、いわゆる原因がどこにあるかというのは新聞報道ではその辺は全てに公表されていない段階なので、そこに原因があるかどうかは。恐らく新聞の報道では、ちょっと違った視点の話をいうところもあるんやで、考えとかんと、そここのところがおかしいということになると。その設計変更のところがどうかという話ではないというふうに思うんで。もっと極一般論で。</p>
<p>西脇委員</p>	<p>一般論ということになりますと、森下部長言われるように、まず入札時の段階では一般競争入札への移行をしていくのが望ましいということと、設計段階、設計変更の中身のチェックとかその辺をやっていく、係長なり当然課長も含めた形でですね、きちんとした体制で。</p> <p>それと、検査ですね、検査対応もですね、何か今年から内部というのか、検査室を離れてやられたということですので、それもなんか検査室で一括してできるという方法は無いのか。二重三重のチェックということかと思えます。</p> <p>それとまあ、職員の色々な面での研修をやっていただくというのも。</p>
<p>服部委員</p>	<p>私の方から一点だけ、ある人が「かねてから市民の間から噂があった」ということを言われているようなんですけれども、もしそれが事実であるのであれば、そういったものがありながら、なぜできなかったのかと。今、一部の自治体なんかでは、公益通報制度とかそういったものがあって、より自らが自らをもって</p>

<p>水谷委員</p>	<p>自浄作用を促すというのがありますので、そのようなところがどうかというふうに思います。</p> <p>入札の分について常々、水道の指名競争入札については、改めるべきである。これはもう入札の指名審査会においても私はそれこそ3、4年もっと前から言っておりました。色々事情があろうかと思うんですけども、やはり一度は一般競争入札にすべきであるというふうに主張はしておったつもりでありますし、やはり、指名競争入札になると、高止まりをするという傾向が、水道の方には非常に多いということですので、それはやはり是正すべきことであるろうと、今でも思っております。</p> <p>それからもう一つ、一般的にですね、次長が言われたようにですね、部内、庁内からそういうような、やはりそう言うふうなことがあったであろうと言われておるということであれば、やはり通報なり、そういうふうなシステムをちゃんと作っておかないといけないかなと思うのと、一般的に不正行為、違法行為をするということは本人は承知の上でやっとするはずであります。これを知らないということはまず無いと思いますので、やはりそういうようなことは、ちょっとあのう、これ時事通信のそういうところから調べましたんですけど、やはり、こんなことをするとどれだけ自分にとって損なのか、いうことを知らしめるべきであると思うんですね。本当に皆さん、あれをしたらいかん、分かるんですけども、こういうような懲戒なり、また色んな不正行為による処罰によってですね、自分として、その本人としていくら損するのか、金銭的なものが一番本人にとっては効けるというか痛い話だと思うんですね。やはりそういうことを知らしめるというのは必要なんじゃないかなと。法的なことをいくら言っても、それは聞いた、というような話だと思うんですけど、いざ自分がそれになったときには、生涯の金でいくら損するのやとかですね、懲戒処分を受けて減俸しただけでも、あと何年おるとこんだけ損する、そんなようなことをちゃんと知っておけば、そんなあほなことなかなかせんと思うんですね。そういうふうなこともひとつの方法ではないかと思うんです。</p>
<p>榊委員</p>	<p>今回の不祥事は、一義的には職員の倫理観の欠如ということが第一やと思うんですね。</p> <p>これ、東京都の信頼回復に向けてというのを見ておったんですけど、原因というのはどこも同じようなものですね、契約とか検査の事務の流れがどうやったんかとか、それから契約事務処理の過程がどうやったとか、それから施工業者の選定はどうであったとか、それから履行確認の方法はどうであったとか、工事発注に係る元職員の権限はどうであったのかとか、それから施工業者の責任はどうであったのかとか、まあこのあたりがですね非常に、どこも汚職の中では言われておまして、やはり今回の件でもやはりこれに全てが当てはまるのかなというふうに思っております。</p>
<p>城田委員</p>	<p>概ね皆さん言われたと思うんですけども、同じことの繰り返しになるかも分かりませんが、やはり公務員倫理の欠如が最大の原因で、そういう意識が欠けていた、それに対する研修が適切にされていたのかどうかはまず一つ思いますし、それら相互の職員のチェックが欠けていたところがあったことが大きなことかなと。</p> <p>それと、担当業務が長期に渡るといのは権限が集中してしまいますので、</p>

<p>飯田委員</p>	<p>その辺りは、やはり人事の面のなかで大きな問題があったのかなというのは思っております。</p> <p>それから先ほど指摘のあった検査の関係ですが、今年度は確かに水道について検査室から業務が離れたということで、それがひとつ事件の発生につながったかどうかについては、検証していくこともあるかと思うんですけども、その水道の検査自体が特殊な業務があるということで、組織的に対応できないこともあったのかなということもありますけれど。今後水道さんの方とも打ち合わせをしてですね、外部のチェック、同じ内部だけではなく外部のチェックを受けるといことも今後の検査の中では必要かなということも思います。</p> <p>倫理観の欠如、私も技術的な仕事をずっとやっておりまして、市役所に入庁してからずっと同じ考え方で現在まできているわけなんですけれど、そういう考え方を持ったことはないわけで、まずそれが一番だと。</p> <p>色んな知識として、損か得かという話もありましたんですけど、その辺りというのはですね、ある程度ですね、生活の中での何かずさんだ何かがあったのか、きちんとした生活ができていなかったのか、ちょっとそういうふうにも思ったりもします。</p> <p>それから入札の方式なんですけれども、私も契約監理のほうに4月から仕事させてもらっておって、市長部局においては総合評価方式、一般競争入札、設計等もそういうことに取り組んでおって、決して他市に比べると相当、三重県以上ということには行きませんが、そういうところで進んできた中で、今回の事件のあった水道部局がそれに追従するなり一緒に動けなかったことがちょっと残念だなあということだと思います。</p> <p>検査についてはですね、非常に特殊な業務もあるわけですし、常に検査を、工事に付き添って検査をするということでございませぬから、あくまで監督員の資質なり技量というものが非常に問題になっている。</p> <p>検査についてはやはり最終的に資料を基にした検査とか、それから既に工事の終わった所の後の設計書確認したり、写真確認したりというような後の検査になるわけですので、監督員が常にその都度その都度の、工事工程ごとのチェックとか検査とかそういうこと。最終的な契約上の支払い等に関する検査については、その報告をもって確認していくという、認定部分についてはそういうことになるかと。検査体制を強化すればよいということではないというふうに私は思っております。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>行政のほうへ来させてもらってまだ日が浅いんですけども、本当に行政マンとしての専門的な知識が要るところやなど常感じておりまして、ただそれがある一人の者に偏っていくという、複数対応をといることを常に話しておるんですけども、今回の場合は一人の人に偏っていたのか。それが長期化していたことが原因かもわかりません。</p> <p>それから気になるのは、業者との接し方というのがやはり一線引いた接し方をしていかないといかんのではないかと。</p> <p>それから、学校のほうは県職を結構たくさん抱えておりまして、県の方は昨年懲戒処分の基準というのを明確化、本当に細かく、こういうことをしたらこうなるんだということを明確化していきまして、それだけ県のほうも不祥事が多かったというふうなことで、こんなのが頻繁に降りてきていまして、常日頃からのそういう啓蒙・啓発が必要なのかなと感じました。</p>

伊藤委員	<p>原因等につきましては、部長さん等、皆さんおっしゃられたことが私も同じような意見でございます。あえて言わせていただきますならば、今後については、部内、課内のチェック体制、これがどういう形が良いのか、どういう形でできるかという部分があると思いますが、やはり部内、課内でのチェック体制の確立ともう一点は最後は倫理観に行くと思いますので、倫理観の研修という部分になるのかなというふうに思います。</p>
委員長	<p>一通り色々意見をいただいたんですけど、よく言われておりますように、同一職場に長いこといることによってですね、業者との癒着とかそういう部分が出てくるというので、その辺を今後検討していく必要があるのかなというのと、当然今後入札方式について、一般競争に移行していくということと、検査体制なりチェック体制をしっかりやっていくということと、あるいは、情報については市民から色々いただいておったやないかということで、それについての対応を少し怠っていたという、それから、研修、公務員としての倫理の研修をやっていくということで、47歳やったか彼は。(46歳)当然、昨日や今日入ってきた職員と違って、十分入ってから何十年と経っている職員で、自分がそういうことをしたらどういうふうな形で損得と言われましてけれど、そのへんのその、先ほどお話しありましたように、自分がそういうことをしたら自分に損得と言われまして、自分のほうにどういうふうなものが及んで来るかという分別を十分わきまえとる年代の者でありまして、中級職員としてこれから市を引っ張っていかなければならん立場の者がそういうふうなことで、やっぱり後輩等にも見本を見せやなあかん立場の者やというふうに思とるんですけど。その辺、少し緩みがあったという感じを受けるわけですけど。当然、この辺については今後次第に明らかになってくるわけですけど。</p> <p>当然新聞報道等の域を出ないんですけど、やっぱり業者との接し方ということからいくと、5時以降にですね、時間内以外の時にもですね、例えば「飲食をともにしたりするということとか、そういうところで「次また頼むで」という話が新聞に報道されておったんですけど、ああいうふうなことは当然普段から厳に慎むようにということは一生懸命言っておるわけですね。ですからその辺のところ、今後どういうふうな形でこれから職員に対して再度周知徹底を図るということも当然必要だと思いますけれど。</p> <p>水道部局については、同じところに長いことおるとかいうと、本庁のほうに比べて少し厳しさが足りないのではという部分、思うんですけど。やはりその辺はこれからどういうふうにしていったらこういうふうな問題が二度と起こらないようになるかというふうなことで。中堅職員がこういうことをするという事は、どこにその原因があるのかと、先ほど損得も十分知っている上でやるわけやろう、どこがそういうところあれなってくるんか。退職金もだめ、年金もだめ、いうふうになってきた時に、自分にとってどんだけどういうふうな形になって帰ってくるか十分に知っている立場の人間やと思うんやけど。その辺が分からなくなってしまうというのは、完全に。管理者どうや。その辺。</p>
斎藤委員	<p>私が去年4月から就任してからですね、本人の休暇の状況、年休にしてもあるいは早退にしても、かなり目立つと。それは私としては後からとか途中で知ったという状況。そうするとやはり直属の係長、課長からあるいは課長なりがですね勤務状況は分かっているはずやと。そこで今言われた噂なりが耳に入っ</p>

	<p>て来た。それと今も出たと思うんですが、これから係長になろうという段階の者がなぜ損得もわきまえずにしたか、ということで、飯田君が言った本人の生活状態とか事情とかそういうのにやむを得ず、みたいなそんなこともちょっと自分なりに思うわけなんです。従ってそんなとこをきちん上司がきつく指導・監督していかないとまずいかなあと思います。</p> <p>ちょっと私も耳にしたことで、本人に対して直接今言われた「退職金出やへんぞ」、まあ一般的な例としてそういったことを話したことがあるけど、彼はそういうことはないですよ、という否定をされるわけ。そうすると、もうそこで完全に否定すればさらに突っ込んだ話は出来なかった、そういう経過はありますけれど。</p> <p>それと、入札の方法については私も以前の立場ではですね、さっき義人君が言ったことをそのまま言っておりました。自分がこの立場になって、なぜという部分は自分なりに整理して議会の委員会等と言っておるんですけど、メリットを言うことでこういう方式をとっているということを言っていたんですが、ただいかんせん、落札率の問題やら業者の選定の問題やら、そこら辺は事実としてありますので、その数字を言われると、釈明に終わらざるを得ないという部分はあって、自分としても忸怩たるものを感じております。</p> <p>従って、今現在は工事の入札をストップしています。そのような状況です。</p>
委員長	<p>まあ、色々、話で大体こう、皆さん言われていることで大体言い尽くされているようなことで、どこの事例をとっても不祥事の案件が発生したときに皆さんが言われたことに集約されてくるわけですね。その辺のところの原因をですね、どういうふうこれから一つずつぶしていくかというふうなことが非常に課題になってくるんですけど。まあとくかく、こういうふうな問題については先ほど管理者のほうから話があったんですけど、本人にこういう噂があるけれどどやと聞いても本人は当然否定するというので、更にそれをもう少しさらに追及するとなるとプライバシーの問題とか色々な問題とか、昔ですと結構その辺のことはかなり色んな情報が入ってきて、最近職員間の、昔に比べて同じ職場内でフランクに話せるというんじゃないかと、どうもぎすぎすしたような感じに受けるんやけど、案外その辺のことはどうですか、例えば職場の雰囲気の中で非常にぎすぎすした状態があって、通報制度のような形になってくると、お互い職員同士で疑心暗鬼になるとさらにまずいなという部分で、非常に難しい事態になってくるのかなあという気がするんやけど。</p> <p>先ほどの職場が長いこととか、あるいは入札制度のことは、早速変えていくという方向で、こういうのは対処できるけれど、内面的なことについて、例えば連れ同志で「お前、噂にあがってるぞ。あかんぞ。」とかどうとかこうとかいうことを素直に言えるような職場風土になっていない、上司に言えるようになっていないんじゃないかというふうな感じに思うんやけれども。その把握を上司がしとらんとちゃうかなあという部分も思うんやけど、各職員一人ひとりのその普段の行動なり、ああいうやつはここにおるだけしかわからない。あとのことは、昔やったら案外関心持って、そんなことまでほっといてくれということまで案外上司の者はあれしとったけれど、最近はその辺のことが希薄になっているような気がして、思うんやけど。その辺どうやな。</p>
榊委員	<p>私も経験上ですね、県におったときですけど、地域機関というか出先の課長、本庁の係長というのは非常におもしろい、もうやりがいのある仕事なんで</p>

	<p>すね。というのは、いわゆる知り得る立場が非常にある、情報がかなり入ってくる。そうなる、どうしても権力集中になってきて、やっぱり取り付いてくる、業者なりが、寄って来ると。そうすると勿論職員の倫理も大事なんですけれど、やっぱりどうしても誘惑に負けるところが出てくる、よっぽどしっかりしていないと。だから、情報管理を、情報をどうやって分散するかが非常に大事なんかなど。その分散の方法はこれから問題点にあげていただくことになると思うんですけれども、情報管理をいかに徹底するか、にかかってくるのかなあというふうに思いますね。</p> <p>一番、係長、主査もそうですけど、47・8歳という、仕事も分かって、何もかも自分でできるという自信もついてきまして、やっぱりこう、権限が集中しすぎるのかなあという気がしますね。どうしてもおまかせになる、課長もおまかせになるし。</p> <p>まあその辺やわね。特に長いこと同じところおると、どうしてもまかせてしまうと、今まであんまりそういうところの部分で、そんなに不都合なことも無かったんやったら、それがずうっとずるずるなっていくということもなきにしもあらずやなあと。まかせておけば間違いは無いやろうという部分もあるだろうし。そこんところこれからチェックいれていくというのはなかなか、それこそ大変な作業で。</p>
<p>委員長</p> <p>森下委員</p>	<p>最近色々聞いていると、課で旅行が無くなったとか結構聞くんですよ。その辺のところはどうも、職場としてのひとつの有様というのかな、仲良くなりすぎるといのもいかなんですけども、なんかそういう場で仕事のことで、個人的なことでも相談したりという形があったと思うんですけどね。我々でも先輩の家に邪魔したりとか、そんなこともあったんですけど。どうも最近聞いていると、この建物はこの建物の中だけでええんやという、そういう形、今の風潮なのかも分かりませんが、なんかその辺がぎすぎすなっている原因なのかな。そういうところをうまくやっていくのがやっぱり課長の仕事かなあと。先ほど言ったように係長がおもしろいという一つの権限と、そういう集約されている、けれどもやっぱりそれを見るのは管理職ですから。逆にちょっとおいという形。忙しいんですけど、任せるんですけど、そこはちゃんとしなきゃいかん。</p> <p>ちょっと私、担当係長のほうに色々聞いてみたんですけども、彼らは今、例えば悩んでいるのは随意契約、今、50万円いかでしたっけ工事なんか。これは随意契約でやれるんやという時になって、実は悩むという係長がいたんですよ。じゃあどこの業者にするということについてはやっぱり悩むと。ある意味ではこの辺、若いうちから、これは随契ですから業者を呼んでおい、という話しになっちゃうんで、本来的にはやり方はそうではなくて、随意契約というのは三者に見積書でいいから出して来いという話しなんやけれど、逆に実はこれこうなんやと、頼むわという形。その辺のところからもうある意味では少し感覚的に、呼んでやったらええんやという、その辺のところはどうも組織として、少しずつそういうのか積み重なってきているのかなあという思いはあるんですけどね。まあ、これは制度ですから、人事、チェック体制、入札の制度、それと風土、項目的にはそういった整理をしていっぺん、次の解決策をとということだと思っんですけど。</p>

副委員長	<p>皆さんのおっしゃるとおりのことばかりですけれども、一番強く思うのが、管理職が機能していない、管理していないというか、管理職としての訓練なり育ち方がちょっと、私自身も偉そうなことは言えませんが、大きな問題をはらんでいるのかなど。当然、チェック体制の中でも言えることなんですけれども、管理職が管理職として人間なり仕事もきちっとチェックする、あるいは情報を常に、プライベートまで踏み込むことはよろしくないかもしれませんが、素行も含めた職員の情報というのはしっかりつかんで、常日頃それに対処していくということがなされていない、少ないのかなという気がしています。</p>
斎藤委員	<p>ちょうどそこなんやけれども、まさしく、さっきもちょっと言ったんですが、やっぱり管理職としてですね、その職員に対して毅然とした態度できっちりと言わない。例えばまあまあにしておく。あまりきつくやることによって職場の中が乱れるみたいな、そんなことになって、やっぱり遠慮する。</p> <p>検査にしてもそうやと思うんやけど、本当に検査するという、疑問というか疑いを持って検査するのであれば、いっぺん壊してでも検査するとか、そんなことも、検査体制ではなくて、検査の仕方の中身の問題にまで入っていく必要があるのかなあと、その辺はちょっと感じています。</p>
委員長	<p>職場の中でですね、特に管理職が個々の職員を把握しきれていないという部分が非常にあります。以前ですと、そういうことがあったときは自分なりにその職員を呼んで、ちょっと一杯飲みに行こうか、お前こういう話あるけれど、どうなんやと、ざっくばらんな話しができたんですけども、最近の管理職はそこまで話しをしているかどうかは分からないけれど、色々な情報を多角的に仕入れてもらって、芽を摘んでいくという仕事も管理職としてある程度やっていってもらわんと、管理職もそうだし、係長もそのレベルの者も、部下等についてある程度、全然知らなんだというのはそんなことは今回もなかったというふうに思っているので、ある程度その部分であればやっぱり芽を摘んでおくなり、あるいはその上の上司に相談したり、こういう噂があるけれどどうやろね、本人を呼んできちっとした形で対応したほうがええんとちゃうか、というふうなことをですね、色々そういう情報がこうスムーズに上がっていくような形の職場内の雰囲気づくりを管理職を含めてきちっとやって欲しいなと思うんですけれどね。その辺がよどんでいると、当然、全然まったく私もこの間ちょっとある人から、そんなこと知らなんだんかと言われて、そんなことみんな市民知るとるぞと言われて。</p> <p>職員はやっぱり皆信用してますからね、仕事しとるうえで。すべてそういう部分では、疑いを持ってやるというのは。</p> <p>先ほど話しがあつたように、一個人は非常にこう、その立場になったときにですね、誘惑が多くと思いますよ。その誘惑にいかにか打ち勝つかということになったとき、一人ではなかなか対応できんといったときに、こんな話し言うてきとるんやけど、どうやろな、課長なり係長なり、どやろな、とかそういう話しが、やっぱり皆で情報を共有しながら対応していくというふうな体制、何とかそういうふうな職場環境づくりというのは、やっぱりこれからやっていってもらえる程度良いのかなという気がするんですが。一人で抱え込んで今回のような形で、業者と知らんとる間にそういうふうな関係になってまうというのが本当にまずいかなという感じ思うんですけれど。</p> <p>あと、何か皆さんのほうで、この辺のところも変えていったらどやろなとい</p>

<p>水谷委員</p>	<p>うのがあれば、そういうふうなのも含めてですね。</p> <p>副市長おっしゃるとおりだと思うんですけど、ただ、今我々こういうふうな会議をしているのがですね、部長次長課長クラスの者が話をそういうふうに行っているわけですので、ということは、ある程度の年代を積んで、昔はどうやったんやねという話をしても、我々昔は良かったねという話で済んでしまうわけじゃないですか。やっぱりこれは、今一番こういうふうな問題で、不祥事が起こったときの問題で悩まれるのは係長クラスだと思うんですよね。管理職は管理職ということで、やはりそれなりの重責があるんですから、やはり自分はそれなりの管理職の重責としてですね、やはり認識をもっていたかかないかと思うんですけども、やはり一番問題なのは係長クラスの方が研修なり、研修といっても形だけの研修ではなくて、研修というか集まりという、あまり上の人がいて、こうしなさい、ああしなさい、というわけじゃなくて、職場の風土の中で、係長クラスの人たちが今の部下がどんな者がおるとか、そんな話し合いができるようなことをしてもいいんじゃないかなと。人事課のほうで。</p> <p>職場風土の中ですとね、こういうふうな集まりをすると管理職は管理職だけの集まりで、上からドンと、あと、一般職は一般職の研修ですよと、皆じゅっばひとからげでやっちゃうようなことじゃないような、今、話し合いの中で感じたのはそういうふうなことで、まあ要は、技術職員の中のそういうふうな悩みの、悩みというと語弊がありますが、そういうふうな研修をするなり、1階2階の人たちは相当若い人たちが多いので、係長になられた方たちは非常に扱いが、先ほど言われるように、僕らの時代とは全然違う人たちが今職員になってますので、若い人たちを係長の人たちが扱うというのが非常に大変だと思います。先ほど言いましたように、旅行会でも行こうかと言ったって、絶対みんな手を上げて来るような人はおらへんと思うんですよね。我々の時代だったら、行かなあかんという、行ったら酒飲まされるんやというような話ではない、今の風土ですので、やはりそれはそれなりの悩みがあると思います。その中で、彼はようけ休みすぎや、だとか、彼はちょっとおかしいとかですね、いうふうなはなしも持ち上がってくるのではないかなと。</p>
<p>委員長</p>	<p>格式ばった研修ではなかなか意見が出てこないかも分らんけどね。ある程度その辺がもう少し色々な意見が聞ける、特に中間管理職である係長は非常に悩み、情報もたくさんあるけれど、上と下との間のサンドイッチになって大変な立場にあつてですね、それこそ、先ほど話あったように昔と比べて職員の資質もだいぶ変わってきているという、大変は立場におるなというのは思います。その辺のことで、悩みを聞いてあげて、情報がもう少し上がって来るような形で、そういう体制をこれから研究していくというの必要なあという気はしているんですが。こういう方法もある、こういう方法が良いという話があれば、また次回でも良いので。</p>
<p>服部委員</p>	<p>一つの事例ということで、私この4月からこちらの方にお世話になってまして、三重県では職員のやる気を出す、満足を上げるということで、ここの人事課のようなどころからウィルというメルマガを出しています。その中で少しでも参考となるようなものを、過去に自分が集めたものを毎週職員の方に、建設部の皆さんに送らせていただいております。それで、どれだけ皆さんのお役に立っているのかなという思いもあって、途中3ヶ月ほど過ぎた時にアンケート</p>

	<p>ートを取らせていただきました。それは自分のやっているものに対してもそうだし、他の仕事のことでも何でも自由に書いてくださいよ、というようなこともさせてもらったんですけど、その中で一部の方やっぱり自分普段思っているような、不満なこととかも書いていただきました。そういったところで職員の悩みとかそういうところをくみ取るのもひとつの方法かなと思います。</p>
<p>榊委員</p>	<p>ダイアログというのがあったね。部長級がずうっと輪番で、メールを通じて考えたこと、日常感じていることとか、昨日、本を読んでこんなことを感じたとか、ずうっと回す、全職員に。例えば公室長が昨日感じたこととか、日頃感じていることとかね、そういのを文章で流すんですね、全職員に。それを全職員に見せるとか。共有する職員もおりますし、どうでも良いという職員もいるかもわかりませんが、職場ダイアログという一つのテーマと言いますかね、ずうっと一年くらい確かしておったと思うんですけど、非常に私はなかなか良いなあとは思いましたね。ああ部長らはこういうことを考えているのかとか、それを部長、課長まで降ろすというのが良いかもわかりませんが、普段あんまりしゃべれない部長さんの意見が体现できるということで、なかなか良い企画やなというふうに思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>普段、毎月一回職場研修をやっている、こういうところである程度この問題について取り上げてもらって、その時部長さんに入ってもらって話を聞いてもらうとか、考え方を言ってもらうとか、色々やり方はあろうかと思えます。それから、個々の職場についてですね、自分の職場がどうなっているのかを十分把握をしていただきたいなというふうに思っております。</p>
<p>副委員長</p>	<p>職員の満足度を上げていく、それは良いねえ。</p>
<p>西脇委員</p>	<p>替わって来てから次長毎週、おはようレターということで、メンタル面でやっています。きちっとメール見て感じる人いるし、感じない人もいるんですが、職場の雰囲気も変わってきますし。私も今言われたように、直接、課長にここへ聞くよと言って、個人に聞いて、職員と直接話す機会を持ってですね、話しやすい職場というのはしていかないかと思うんです。割と部長というと権限はあるんですけど、その辺ある程度ちょっと、崩すまでは行かないんですけど。</p> <p>それと報連相、これが一番大事なんですけれども、報告をしても怒られるような感じで言われる方がいるという、なかなか行きにくいということで。管理職も受け入れるような形ですね。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>悪いことほど、報連相をさせる、そういうあれを作っていないと。</p>
<p>西脇委員</p>	<p>形は良いんですけど、バンバンと言われるもので、段々言わなくなるという実情もございますので、その辺は例えば課長に言いにくかったら部長に言うとかですね。</p>
<p>委員長</p>	<p>なかなかその辺の職場の風土をいかに作っていくのかというのが一番大事だと思いますし、今回の場合もそういう部分では、もう少し職場の中がある程度風通しが良かったら、この問題が起こらなんだんやないかと、色々な情報が流</p>

<p>城田委員</p>	<p>れてくるでな。そういうのがなかなか上がって来なんだ。外部の人間から情報を貰っておってはあかんでの。</p> <p>問題職員に対して管理職にそれを押し付けてしまうというのはなかなか、管理職としても重たいところがあるのではないかというふうに思いますけれどね。合併以来仕事も増えているというなかで、管理職の役割のなかで、問題職員というはおるわけじゃないですか。それを管理職だけに押し付けてしまうのは、ちょっと対応しきれんというところもあって。組織全体で対応していく部分の方が良いのかなと。</p>
<p>委員長</p>	<p>それはね、当然今言ったような形で、人事的なことなんか、色々なこと、あるいはその、そういう風通しの部分についてどうしていったら良いのかということ。管理職は当然そういう立場におるんだから、やっぱり管理職がきちっとした把握をしなければ誰が把握するのか。それを例えばどこにこの話しを持っていったら良いのかとか仕分けは当然管理職である立場の者が、これをいわゆる部長段階で終わるのか、あるいは副市長なり市長の段階まで行かなあかん話なんかどうかというのは、当然仕分けはそういう立場におるんだから、やっぱりきちっとした形で毅然とした態度をもって対処して欲しいなということは思いますけど。もうそうやなかったら、ちょっと管理職つとまりませんので落ろしてくださいという話になってくると違うか。そこはやっぱりきちっと対応せなあかんと違うか。</p>
<p>森下委員</p>	<p>今、考えられる問題点というのは4つか5つあると思いますから、それらに絞って、管理職の責任ですからやらなきゃいかんと、管理職としてこれ以上できませんよということであれば、じゃあ次、どうしていくの、というのもこれ解決策として考えていかなきゃいかんから。今日、答えが出るわけではないですけども、少なくとも事務局の方で项目的にこういう項目が考えられるのではないか、じゃあ、それに対して今後どういう対応策を検討していくのかということ。やっていかないと。</p> <p>今日は自由にやっておりますけれども、やはりテーマ絞っていかないとなかなか。それは確かに我々もでもそうですけれども、言いにくいわなあと思っても、やっぱり言わなきゃいかんし、それでも言うことを聞かないんだったら次のステージへ持っていかないと。</p>
<p>西脇委員</p>	<p>ただ、今若い職員は非常に精神的に弱いというのが多い。</p>
<p>水谷委員</p>	<p>基本的に今、その今回の事案の発端である入札とか収賄の部分で、私は、くどいようですけども、水道さんの今後の入札システムの対応というのはどのようにされるのか、どのように考えられているのか、それだけお聞きしたい。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>基本的には一般競争入札に移行せんならんやろな。その時にいわゆる条件的なものを付けざるを得ん部分があるのかな。それは例えば消火栓もいろいろありますから、消防設備的な資格も欲しい、それと管をつなぐ場合の継手の資格、具体的にはそんなところの資格を有する者を配置しとるといような条件でもって、一般競争入札にして行くのかなあということで、私自体はその程度しか知識がないもんで、この場や席ですすね。さらにどういう条件付にするのか、ど</p>

	<p>ういうあれをしていくのかという選択肢をですね、特に〇〇関係の方々から、意見・提案を欲しいと思っています。従って、今本当は入札したいんですけど、ちょっと今ストップかけるとという段階で、そのストップもいつまでしていくのかという部分はあるし、次の入札はやっぱり一般でないと、なんやまたかと、従来と変わっとらんやないかということで、よりお小言をいただくので、そこら辺を早いとこ、まあ契約の力も借りたい。現実には契約が持つとる入札システムを今うちらは現在の予算でシステムの改修が必要になるので、それは今詰めています。要はそれは、極論言えば手続き関係です。桑名市長で必要な書類というのは全部契約にある。すると、水道管理者での書類というのはゼロなんです。それは、今回のシステム改修でそういうやつを入れていくという。すると、契約監理のシステムがそのまま水道にも入ってくるということで、今それを急がせています。というところが具体的なとこです。</p>
委員長	<p>まああのう、水道の関係については、もう少しはっきりするまで次のステップに入るのはちょっとやめて置いた方が良さそうな気がするが。その辺は一つよろしく願いしたい。</p>
齋藤委員	<p>その時にね、技術的なことも含めて、それをした場合の、逆にこんなことが困る、こんなことも困るというのは現実にあるわけで、ただ、それを言うてしまうと、よそのほとんどの市は指名競争以外でやっておんのやで、桑名だけなぜそこに固執するんやと、なぜそんなに出来やん理由を言うんやということになっちゃうもんで、よその状況も色々調査しながらですね、せざるを得んのかなと。</p>
委員長	<p>管理者ね、半年くらい遅れてな、やっぱりある程度きちっとしたものが固まるまでは工事等を保留しておいて、遅れても仕方ないぞ。中途半端な形でまたなってくると、反省しとらんやないかと。やっぱり業者に対しても今までみたいな状態な訳にはいかんと。じっくり期間、時間を取って、きちんとしたものをして欲しいなど。</p>
齋藤委員	<p>繰越も、あるいは予算も不執行でとっております。</p>
副委員長	<p>前々から言っている中で、改善がされてこなかったのは、正に甘えの構造なんやわね。弁解聞くのは、非常時に市内業者がさっと動いてくれるからというよりも、便利屋で使えるからということなんです。一般競争入札にするのを手続き的にしっかりと取り組まんならんから、ややこしいとか、ていうような。職員でも、替えること自体が、あの職員は技術的に良いから次ここに持っていこうかという話しをすると、頼むでこいつだけは替えやんといてくれ、それは、替えられると自分が新しい職員に対して指導せんならん、それが難儀やからそやって言うている。すべてが甘えの構造があるわけで、そこが遠因の一つになっているんとかやうかなと。</p>
委員長	<p>今回の場合もね、新聞の報道によると、また社長が変わったけれどひとつ頼むわなと、すぐまた指名頼むぞと、一般競争になればそういう部分は防げるわけやで、その辺のところが、やっぱり新聞報道見ても、そのことぐらいはどうやなと思うけれど、やっぱり非常に、公営企業の水道という隔離された、非常に</p>

	<p>甘いなかでやっぱりやっとなという部分、これ世間の人が見たときに、そういう方法でやっとなのか、というのが十分伝わったと思うよ。</p> <p>次はそういうのも含めてね、次回色々議論していただきながら対応策というのもまた色々意見をいただきたいということで、他に言い足らんなどということがあったら、何かありませんか。</p> <p>じゃあ、今回は。</p>
<p>加藤委員 (事務局)</p>	<p>今日のこの検討会の内容を整理する必要もございますので、今回は11月の30日、月曜日の昼からですけれども、午後3時くらいから予定したいなというふうに考えております。それで、議事録の整理できましたら事前に委員の方に配布したいなというふうに考えております。</p>
<p>副委員長</p>	<p>森下部長が言われたように、ポイントを絞って、意見をカテゴリー別に整理できると思うので、そんな感じでちょっと整理して。</p>
<p>委員長</p>	<p>あさっての全員協議会で、事案について報告させていただいて、議員のほうからどういう意見が出るかわかりませんが、また出てきた意見等については報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今回の第1回の検討会はこれで終了させていただきます。どうもご苦労様でした。</p>